

地域福祉推進事業

【香川県宇多津町】

事例紹介

重点分野雇用 創出事業

【介護分野】

宇多津町では、主に高齢者を対象とした、「ふれあいいいききサロンの事業」の推進や「障がい者の居場所」の運営を行っていますが、これら地域福祉の分野は、ボランティアの方が中心となって支えており、関係機関や各種施設の連携調整を行う専門的知識がある人材が常に不足しています。これからも、支援する側、される側と区分するのではなく、一体となって取り組んでまいります。



宇多津町 保健福祉課長
亀井 修さん

香川県



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

香川県 0.74倍(季節調整値)

事業概要

地域福祉の充実を図るため、高齢者を主たる対象として、各地域ごとにつどいの場を設け、介護予防や引きこもりの解消に取り組むとともに、障がい者を対象として、多くの方と接しながら理解者を得ることにより、悩みなどを解消し、地域の交流を深める事業。

委託先

社会福祉法人
宇多津町社会福祉協議会
(香川県綾歌郡宇多津町)

新たな 雇用創出数

1人

事業費

約420万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

業務内容

ボランティアの指導、各種団体との連絡調整、企画 など。



《七夕です！ みんなで短冊製作中》



《願いごとがかなうといいね！》



《『みんなのサロン とも*とも』
におじゃましました！》

地域福祉推進員

地域福祉を推進するための専門職員です。困っている人の相談に耳を傾け、地域の、「人」と「人」、また各種ボランティア団体等をつなぎ、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

これまでの福祉施設等での経験を生かし、地域福祉推進員として、地域福祉の向上のため、日々努力しています。

福祉は『人』との出会いの場です。高齢者や子育て中のお母さん、そして、障がいがある方等、地域で暮らす多くの方との、ふれあいや交流を通して、新しい地域でのつながりができればと考えています。新しい仕事にチャレンジして自分自身スキルアップしていきたいと思ひます。



地域福祉推進員
溝口 祐子さん

溝口さんのある一日を紹介します。



《事務所でも》『こんな企画はどうですか。』

参加者の声

「七夕の日に自分用の七夕飾りを作って持ち帰れるようにして下さったのはよかったです。家族で七夕をします。」と若いお母さんの声。高齢者の方も「久しぶりに作った七夕飾りを子ども達に喜んでもらい、元気をもらえて、楽しかった。」との声が聞かれました。

今後の姿と課題

まずはこのサロン「とも*とも」を継続していきながら、各地域の状況にあった形で、町内全域に広げていければと考えています。現状では、社協や町の職員が中心となって企画をしていますが、参加する人が自主的に企画を考え、運営できるように働きかけていきたいと思ひます。



《サロンでも》『みんなで、わらべうたで遊ぼう！』



社会福祉法人
宇多津町社会福祉協議会
事務局長 高瀬 誠さん

これまで高齢者支援や子育て支援、障がい者支援はそれぞれ、別々なものとして取り組まれてきたと思ひます。

この事業を始めたことで、困っている方への単なる支援だけではなく、高齢者や障がい者に関係なく全ての方それぞれが主役であり、自らができることに取り組むという姿勢が出てきていると実感しています。

今後も積極的に地域のつながりを大切にして、地域の福祉力がつくような支援に努めていきます。



《楽しく、みんなでがんばります！》